

視聴覚教育

NO. 353

発行日

21. 6. 16

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

「dpi」
dpi(dot per inchの略)とは、1インチの幅の中にどれだけドットを表現できるかを表すドット密度の単位のこと。プリンタやスキャナの性能表示やコンピュータ上で用いる画像データの精度を表す単位として用いられる。

日常的なICT利用で子供たちの

学習意欲の向上と知識の定着を！

学習情報指導員 島田 繁直

今年度から、新学習指導要領の移行措置が実施されています。小学校では、コンピュータに慣れ親しむことから、基本的な操作を身につけコンピュータ利用が各教科で学習のねらいを達成するための直接的な手だてとして位置づけられています。中学校では、生徒が自ら利用することが明記されています。また、情報モラル教育について、小学校低学年から中学校まで、子供たちの発達段階に応じて行々とされています。新指導要領を受けて、授業でどのようにに視聴覚機器やコンピュータ、ネットワークなどのICT（インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー）を活用したらよいのか戸惑う先生もいることでしょう。そんなときには、普段多くの先生が使っているデジタルカメラを使うことをお勧めします。記録写真としての利用だけでなく、子供たちが撮影した実験や見学したことを、話し合いの場でテレビやプロジェクトに拡大投影すれば、話し合いが活発になっ

たり、新たな事実を発見したりできます。

また、プロジェクトによる拡大投影は効果があります。分度器を使った角度の測り方では、教材提示装置と組み合わせることで細かい部分が拡大され、子供たちの意識を集中させることができ、分かりやすく説明できます。各学校に導入されているパソコンソフトは、パソコン室での利用に限らず、職員室での教材研究や資料作りにも活用できます。岡崎市では、様々なソフトが導入されており、学習目標の達成への手だてとして、先生や子供たちの利用により、いろいろな活用方法が考えられます。

何よりも、まずは一度使ってみましょう。使うことで、次のステップが始まります。ICT機器を活用した授業では、子供の目が生き生きとしています。学習意欲の向上と知識の定着には、欠かすことのできない教材教具です。一日に一度の利用から、毎時間の活用へ、まずは手始めに一度使ってみましょう。



Ⅱ 視聴覚教育あれこれⅡ

● 第5回「育て！プリントコミュニケーション」

コンクールの結果

平成21年3月末にあった「第5回 育て！プリントコミュニケーション」コンクール（主催：理想教育財団）に今年も市内の先生方から多くの応募がありました。次の方々が入賞、入選されました。おめでとうございます。
(学校名は平成20年度勤務校)

【優良賞】

藤田 宏（矢東小）
林 茂生・柴田ゆかり（北野小）

【佳作】

加治 良美（梅園小） 村松香保里（梅園小）
白川 真理（井田小） 平岩 大督（井田小）
安藤登美子（井田小） 畔柳 光則（井田小）
浅井 優子（常磐小） 小林 彰一（生平小）
荻野 真市（生平小） 高沢 秀昭（夏山小）
近藤 園子（竜南中）

● パナソニック教育財団による実践研究助成

「実践研究助成」は、視聴覚・情報通信メディアを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画について、助成されるものです。今年度の岡崎市における実践研究助成先は、次のとおりです。

第35回（平成21年度）実践研究助成校

○岡崎市立秦梨小学校

「視聴覚、情報通信機器を活用して、

ふるさとの里山を観察・記録し、発信する」

実践報告Ⅱ

「教室でタイピング練習」

宮崎小学校 浜本 安彦

本校は、全校児童数二十四名のへき地複式校である。コンピュータの利用指導では、旧額田町時代に作成した年間指導計画に沿って、現在も二週間に一回のペースで指導を行っている。

コンピュータの利用について、身につけたい技能としてタッチタイピングがあるが、練習する時間を確保しないと、なかなか身につかない。そこで本校では、昨年度、再利用パソコンを各教室に二台ずつ配置し、それぞれタイピング練習ソフト（過去に購入したソースネクストの特打シリーズ）をインストールして自由に使用できるようにした。一台に複数のソフトをインストールすることで、子どもたちは自分の好みに合わせてソフトを選択し、意欲的に楽しく練習することができるよう配慮した。

現在、子どもたちは雨天のため外で遊べない放課などに、コンピュータに向かっている。学級の人数が少ないこともあって取り合いになることもあまりなく、タイピングの腕は確実に上がっていることを感じる。



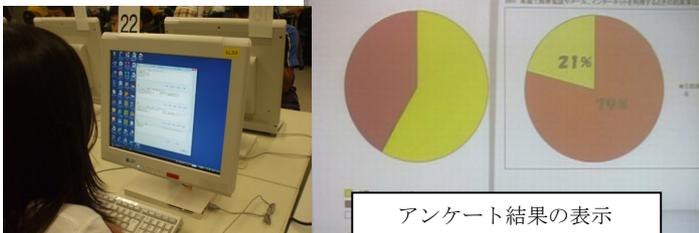
Ⅱレッツ・トライⅡ

アンケート回収『スカイメニュー』

児童の実態をつかむために、アンケートをとることがある。そうすると、数値だけではぴんとこないのが、グラフ化する。パソコンがさつとグラフ化するので、楽なのだが、アンケートの集計がめんどうくさい。そのアンケートの集計もパソコンがやってしまうのが、PC教室で児童機を管理している「スカイメニュー」のアンケート機能である。

事前に、パソコン上でアンケートを作り、スカイメニューで配布する。子供たちが選択肢を見てチェックを入れ、それを教師機に送り返す。そうすると、もうあつという間に集計されてグラフ化され、画面に表示される。子供たちはマウスでクリックするだけで、キーボードを打つ必要もない。リアルタイムで集計されるので、興味津津である。大画面に映し出してもいいし、児童機に送ることもできる。統計グラフ担当の先生が、この様子を見て、一言「これで集計したら、簡単だよね。」いかがですか？

（六ツ美西部小学校 学習情報主任 神野裕美）



ライブビューだよ

●平成21年度「親子映画会」のお知らせ

〈上映日と会場〉

- ・ 7月19日（日）
矢作市民センター ぬかた会館
- ・ 7月26日（日）
東部市民センター 六ツ美市民センター
- ・ 8月1日（土）
南部市民センター（シビックセンター内）
- ・ 8月2日（日）
岩津市民センター
- ・ 8月9日（日）
大平市民センター 中央市民センター

〈上映時間〉

- ・ 午前の部 10時～11時30分
- ・ 午後の部 13時30分～15時

〈上映映画〉

- ・ ムーミンと落ちてきた星の子
- ・ ぼくは王さま
- ・ 眠れぬ夜の小さなお話
- ・ 忍たま乱太郎のがんばるしかないさ
- ・ 落語「芝浜」より「夢ものがたり」 など

●「ビデオ講習会」のお知らせ

〈日程〉 7月25日（土）

〈場所〉 岡崎市教育文化館

〈内容〉 ビデオカメラの基本実習、撮影した素材の編集実習など

※詳しくは岡崎市視聴覚ライブラリー（電話23-6789）まで